

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	健康と食育の充実
----	--------------------	----	------------------	------	----------

部名	教育部	事業開始年度	-年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	給食センター	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内小・中学校児童 生徒等
手段	・2箇所の調理場で作った給食を6台の専用搬送車両で市内29小・中学校へ配送し、各学校にいる配膳員が各クラス毎に配膳する。 ・栄養教諭が学校教育課程の中で「食」に関する教育指導を行う
意図	・正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通して育成時に必要な食事を摂取(栄養バランス、量)し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心を育成する。 ・児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上に貢献する。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,941	10,674	10,303	9,991	
対象指標2							
活動指標1	年間給食センター稼働日数	日	200	201	201	203	
活動指標2	栄養教諭による「食」に関する指導学級数	学級	250	303	250	250	
成果指標1	残食率	%	19.2	19.7	18	18	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	214,544	213,064	209,384	216,644	0
正職員人件費(B)		千円	165,488	156,002	159,065	152,330	0
総事業費(A)+ (B)		千円	380,032	369,066	368,449	368,974	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			